



国民の森林・国有林

萩森林計画区の概要と 次期計画の検討方向

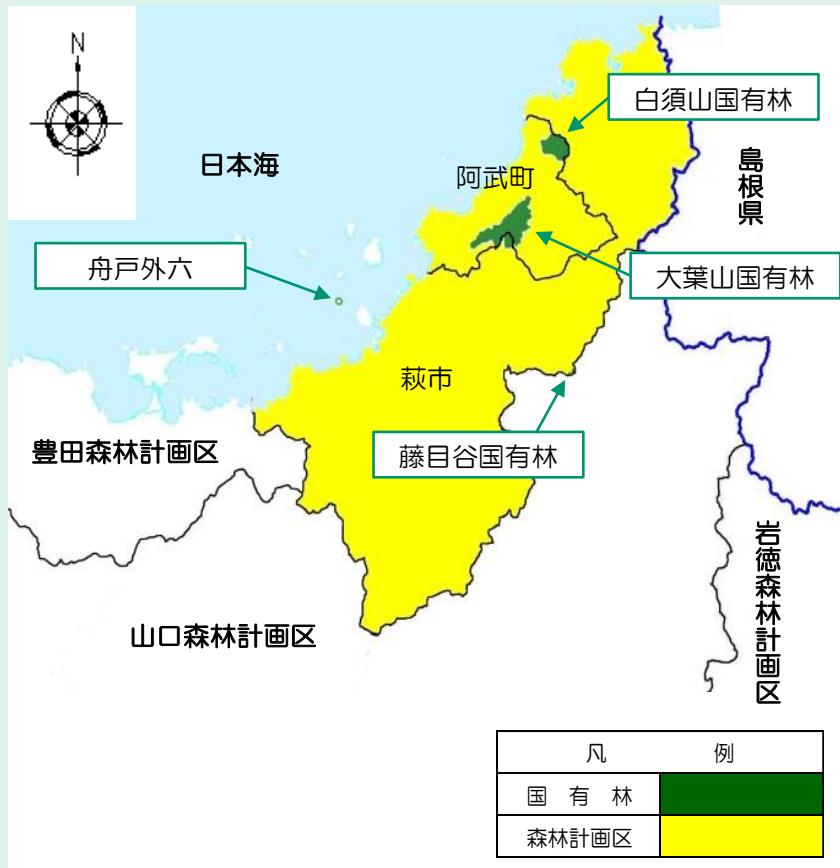
大葉山国有林（阿武町）

林野庁 近畿中国森林管理局
山口森林管理事務所

萩森林計画区における 国有林の特徴的な取組

萩森林計画区の概況

【萩森林計画区位置図】



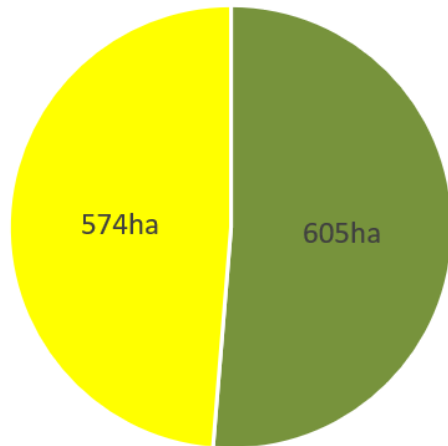
- ・萩森林計画区は、山口県北部に位置し、国有林野は主に森林計画区の北部の阿武町を中心に所在
- ・森林の総面積66千haのうち国有林野は1.2千ha（2%）
- ・国有林野面積の60%が水源涵養保安林に指定されており、下流部の水源涵養機能の確保に重要な役割

（該当市町）
萩市、阿武町

森林資源の状況

- 面積割合は人工林が51%、天然林が49%
- 人工林の蓄積割合は、スギ19%、ヒノキ49%、アカマツ25%、その他が7%

【人工林・天然林の林地面積割合】

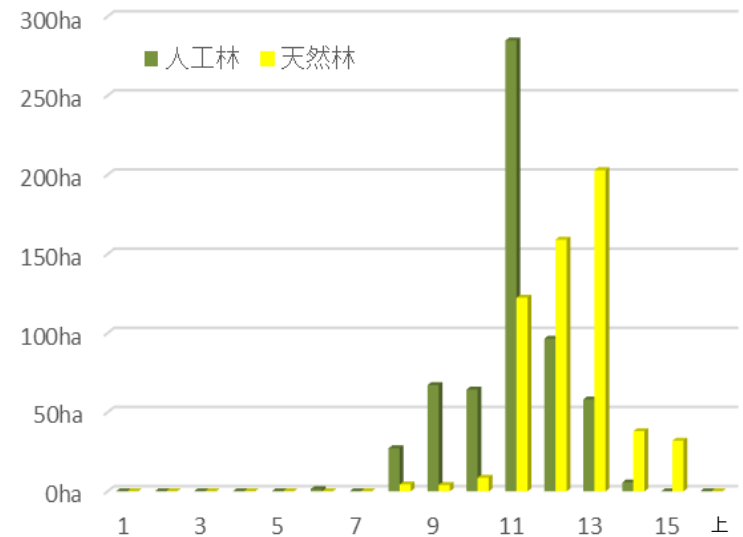


■ 人工林 ■ 天然林

- 人工林の齢級は11齢級が中心

※齢級とは、森林の年齢(林齢)を5年でひとくくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下3齢級・・・と称する。

【齢級別面積】



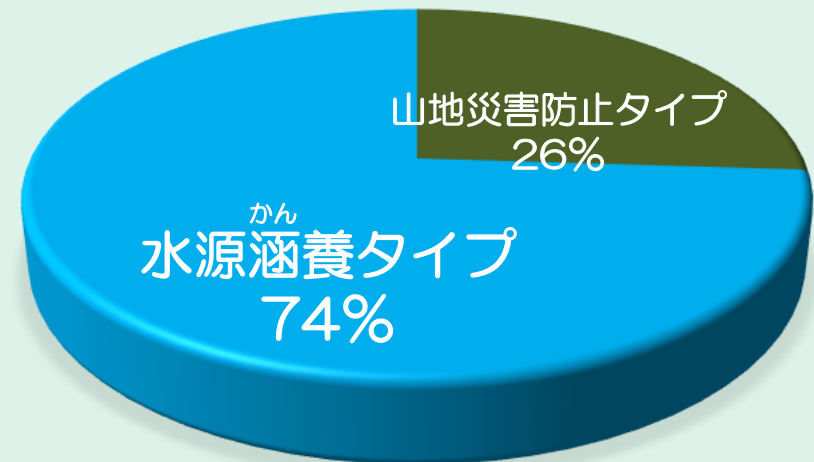
機能類型に応じた管理経営

重点的に発揮すべき機能によって、森林を5つの機能類型（タイプ）に区分し、適切な管理経営を実施

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止 タイプ	306	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
自然維持 タイプ	0	原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用 タイプ	0	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林
快適環境形成 タイプ	0	騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
^{かん} 水源涵養 タイプ	893	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林

【機能類型別割合】

国有林野面積 1,203 ha



注：四捨五入により、内訳と合計が一致しない。

次期計画の検討方向

次期計画の検討方向

国有林の三つの基本方針

- 1 公益的機能の維持増進
- 2 林産物の持続的かつ計画的な供給
- 3 地域産業の振興及び
住民福祉の向上への寄与

■ この基本方針に基づき、事業や取組を計画

■ 特に、自然条件や社会情勢の変化に応じて次の事項を重点的に検討

- 1 複層林施業の推進
- 2 林地保全に配慮した森林施業の推進
- 3 花粉発生源対策の加速化
- 4 特に効率的な施業を推進する森林

公益的機能の維持増進

国土の保全：保安林

山地災害防止機能や水源^{かん}涵養機能等を高度に発揮させるため、保安林を配備するとともに、保安林の機能を高めるための治山事業を実施

水源^{かん}涵養保安林



大葉山国有林（萩市）

保安林の指定状況（R7年度末）

保安林の種類	面積(ha)
水源 ^{かん} 涵養保安林	720
土砂流出防備保安林	146
干害防備保安林	241

※ 保安林種が重複する箇所がある

国土の保全：治山施設の整備

溪間工（令和2年度施工）

施工前



施工後



平成25年7月の集中豪雨により、山腹崩壊等の各谷から
土石流が発生

白須山国有林（阿武町）

林産物の持続的かつ計画的な供給

林産物（木材）の供給 ～ 地形を考慮した間伐、小径木の利用拡大 ～

- 本計画区で生産される木材全てが間伐材
- 路網、高性能林業機械、列状間伐を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進
- 小径木や未利用材（D材）は、木質バイオマスへの利用を拡大

低コストで崩れにくい路網整備



高性能林業機械の活用



列状間伐の導入



低コスト化に向けた取り組み ～ 生産と造林の一貫作業システム ～

- 植付の時期を選ばないコンテナ苗を用いることで伐採後直ちに植付が可能（花粉の少ない苗木等の導入）
- 木材の運搬機械を苗木や防護柵等の造林資材運搬にも活用することで、造林コストを低減

〔伐採〕



〔造材〕



〔搬出〕



〔植栽〕



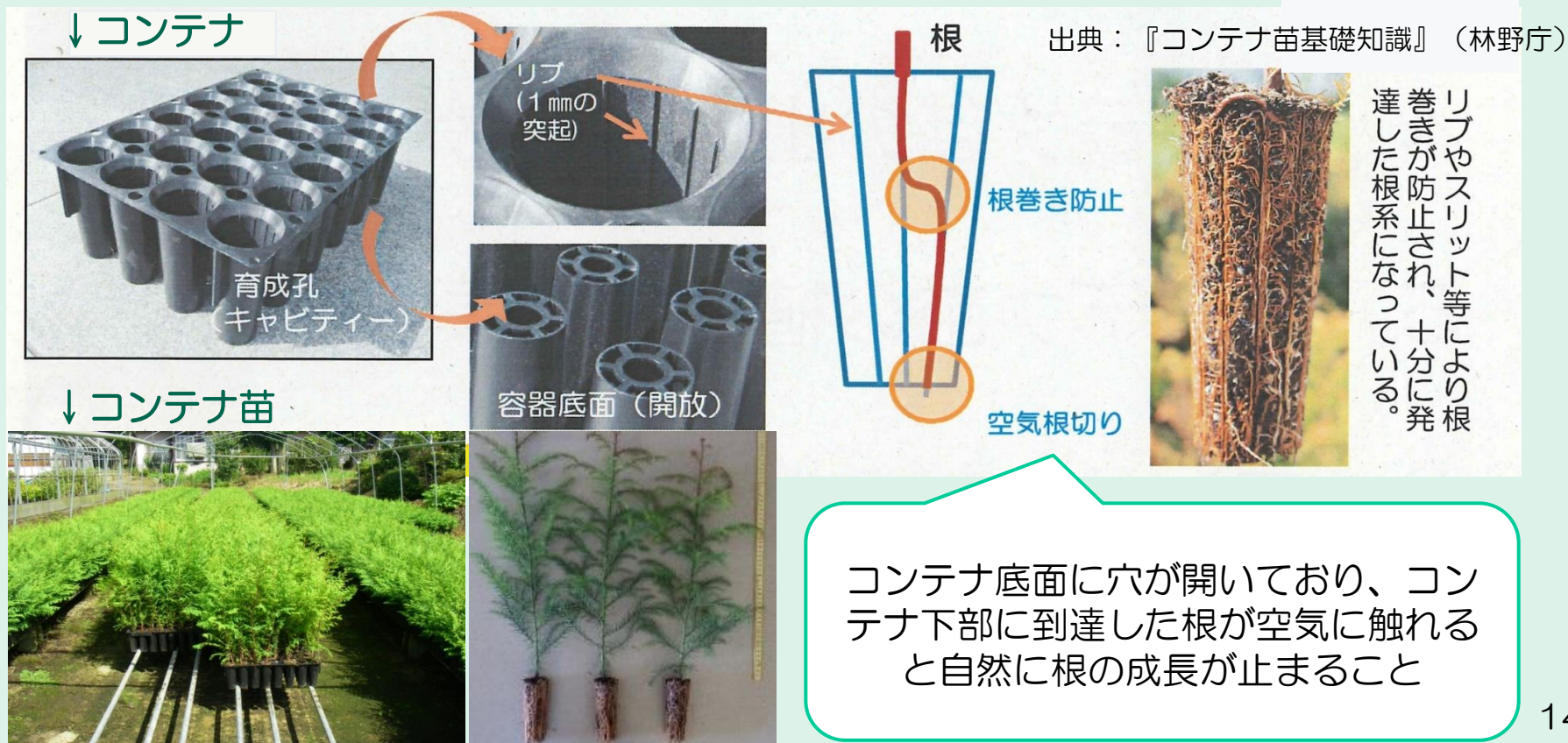
〔造林資材の運搬〕



※一貫作業システム： 伐採と植栽を一体的に行う作業

低コスト化に向けた取り組み ～ コンテナ苗 ～

- 苗木を育成する容器の内面にリブ（縦筋状の突起）を設け、底面を開けることによって、根巻きしにくい苗木を生産
- 根鉢がコンパクトで小さな植穴で、季節を選ばない効率的な植栽が可能



1 複層林施業の推進

森林・林業基本計画に掲げる目標に向け、近畿中国森林管理局においても、自然・社会的条件等を踏まえ、複層林への誘導を推進

単層林を維持

植栽、下刈り、除伐、間伐



標準的な伐期



長伐期



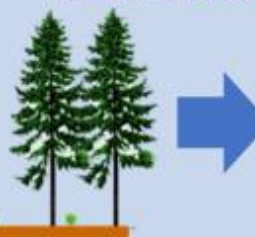
長伐期化

間伐を繰り返しながら、
高齢級の林分を育成

伐採後、植栽

複層林に誘導

面的複層林の造成



帯状・群状の伐採と再造林を行いながら、面的な複層林を造成

針広混交林化等



上層木の抜き伐りを繰り返しながら、単木的な複層林を造成

2 林地保全に配慮した森林施業の推進

森林は国土のおよそ7割を占め、地形は急峻で複雑かつ脆弱
また、近年全国各地で山地災害が激甚化しており、山腹崩壊、林道の損壊等
広域にわたる大規模な山地災害が多発



国有林野では、従来から皆伐の伐採面積をおおむね5ha以下にするなど、
公益的機能重視の管理経営を行ってきたが、今後、山地災害によるリスクを軽減
するため、これまで以上にきめ細やかに林地保全に配慮した施業に取り組む

・山地災害危険地区等
との位置関係を確認し、
機能類型の見直しを図
る（山地災害防止タイ
プへの変更）

・山地災害防止タイ
プのうち、急傾斜等に該
当する小班をエリア指
定し、林産物の搬出を
原則として架線集材と
する



山地災害危険地区の3区分

3 花粉発生源対策の加速化

県が設定した「スギ人工林伐採重点区域」を含む市町村内の国有林を「重点区域に準じた国有林」に位置付けし、伐採・植え替えを効果的・集中的に実施

(参考) 林野庁の花粉発生源対策

花粉発生源となるスギの人工林について、「伐って、使って、植えて、育てる」といった森林資源の循環利用を推進し、花粉の少ない多様で健全な森林へ転換していきます。

伐って利用します

花粉を飛散させるスギ人工林等を伐採・利用します。

住宅に加えて、公共施設や商業施設の木造化等にスギ材を利用することにより、花粉を飛散させるスギ人工林の伐採を進めます。



伐採された木材の利用拡大



花粉発生源である立木の伐倒・搬出

植え替えます

花粉の少ない苗木等による植替や広葉樹の導入を進めます。

花粉の少ない苗木の生産増大に取り組み、スギの伐採跡地への植栽を促進します。また、条件不利地においては、伐採後の広葉樹の導入等を進めます。

花粉の少ない苗木等の生産体制を増強



出させません

スギ花粉の発生を抑える技術の実用化を図ります。

スギ花粉の飛散防止剤の開発・普及等、スギ花粉の発生を抑え飛散させない技術の実用化を図ります。



花粉飛散防止剤により枯死した雄花



目 標

・ 令和5～15年度までにスギ人工林※を2割削減

・ 将来的（令和5年度から約30年後）には花粉発生量の半減を目標

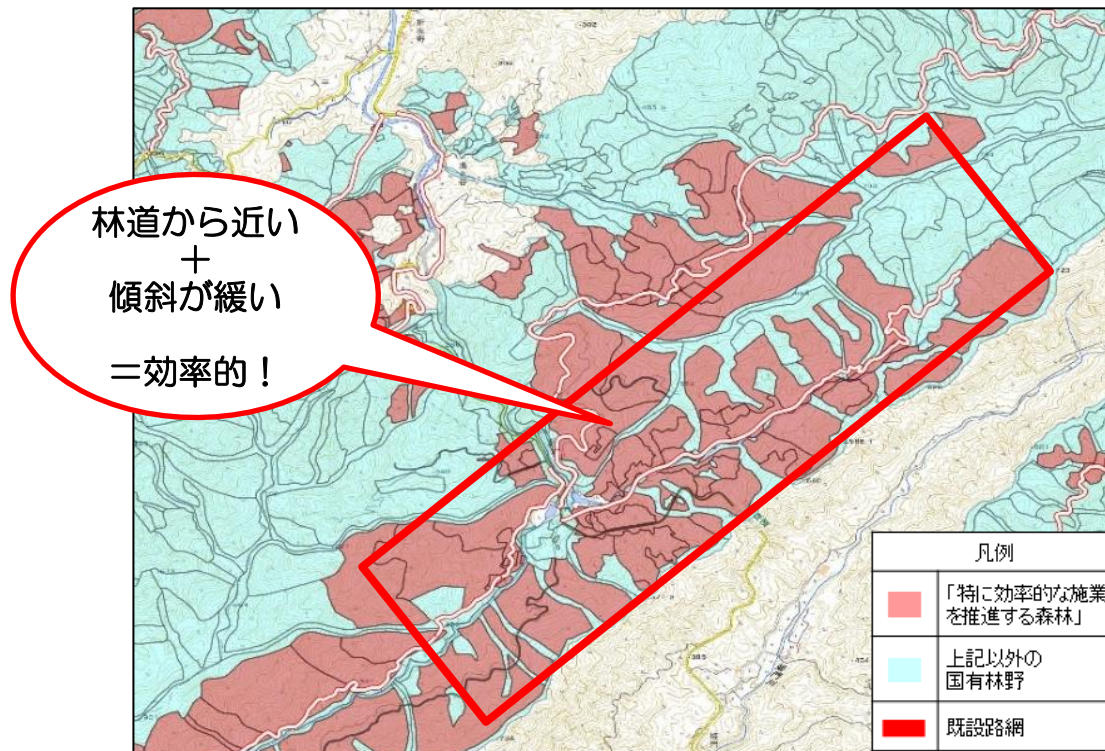
※花粉の少ない苗木はスギ人工林に該当しない

注）大都市近郊における伐採を率先

4 特に効率的な施業を推進する森林

水源涵養^{かん}タイプに区分された人工林のうち、地位が比較的高く、急傾斜地以外の自然条件や林道等からの距離が近いなど社会的条件から持続的な林業生産活動に適したものを「特に効率的な施業を推進する森林」に設定

「特に効率的な施業を推進する森林」の設定と取組内容



「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施と民有林への普及



事業発注を通じた林業事業体の育成



木材の安定供給に資する林道の機能強化



このほか、分収造林新規契約やレーザ計測・解析等を優先的に実施



これらの取組を通じて、地域の国産材の安定供給体制の構築や将来的な森林吸収量の確保・強化にも貢献